

なぜ「ラ」は 基準音になつたのか？

ピアニストと調律師とピアノ

世界で活躍する調律師 村上達哉



©Taisuke Yoshida

新進気鋭のピアニスト 島田彩乃

知的好奇心をくすぐる音楽プログラム

A=440Hzと表記される基準音は「ラ」の音の周波数を表します。ピアノの調律では一般的に、基準音の「ラ」から1オクターブを十二平均律（帯域を同じ周波数で12等分した音階）で調律されます。ではなぜ基準音は「ラ」になったのでしょうか？そこには音楽に係わる長い歴史があります。「調律師」、「ピアニスト」が語り合います。

トークセッション
ピアニストと調律師が語る「ピアノへの熱い思い」とは

ミニコンサート
島田さんのピアノだけでなく村上さんの歌も！

「ピアノという革新」



最高峰の
グランドピアノ
Shigeru Kawai
SK-EX を使用

平成31年 **1月19日(土)**
開演/14:00 (開場/13:30)

藤枝市民会館

[主催] 藤枝市民会館指定管理者 (株)アス・藤枝オリコミピーアールグループ
[後援] 藤枝音楽協会

入場料
全席自由

一般:500円

一般発売:11月9日(金)

プレイガイド

藤枝市民会館窓口、藤枝江崎書店、まちづくり藤枝、
KAWAI直営店/カワイ静岡ショップ

[お問い合わせ] 藤枝市民会館 (TEL 054-643-3931)



株式会社 河合楽器製作所

A=440Hzと表記される基準音は「ラ」の音の周波数を表します。ピアノの調律では一般的に、基準音の「ラ」から1オクターブを十二平均律（帯域を同じ周波数で12等分した音階）で調律されます。

藤枝市民会館でもグランドピアノはコンサートごと、A=442Hzであったり、A=441Hzであったりと、演奏家の指定で調律されます。調律師は出演者の表現にあったピアノに調整し、ピアニストの素晴らしい演奏を支えているわけです。

ではなぜ基準音は「ラ」になったのでしょうか？そこには音楽に係わる長い歴史があります。作曲家が、演奏家が、調律師が、それぞれピアノに懸ける思いを込めて送り出される旋律。その共通点となる基準音とはなんなのか？そこにはどんな思いがあるのか？「調律師」、「ピアニスト」が語り合います。

Profile



調律師 村上達哉

香川県高松第一高等学校音楽科卒業、国立音楽大学声楽科卒業(1988年卒)
1988年河合楽器製作所入社、ピアノ研究所に勤務。フルコンサートピアノを製作、研究しているピアノ研究所に30年に及び勤務をし、木工加工からすべての製作過程を経験、現在はコンサートピアノ専門の調律師として、設計開発も含めて研究～製作まで幅広く仕事をしています。
ピアノ研究所在籍中の1998年～2000年 海外研修制度により2年間渡欧、ドイツのピアノマイスター、イタリアのポツリーニなどの専属調律師として有名なファッブリーニ氏の下で研鑽を積む。
2000年、2005年、2010年、2015年とそれぞれショパン国際ピアノコンクール(ポーランド)に調律技術者として派遣、多くのファイナリストを輩出した。また、チャイコフスキー音楽コンクール(ロシア)、ラフマニノフコンクール(USA)、シドニー国際ピアノコンクール(オーストラリア)、その他、ダブリン(アイルランド)、ウィリアムカベル(USA)ヴィオッティ(イタリア)ジュリアーノ・ペカール(イタリア)、浜松国際ピアノコンクール、高松国際ピアノコンクール等、多くの国際コンクールでもピアノを調整している。

また多くの音楽家からそのピアノ調整には信頼を得ており、世界各地で行われる、マスタークラスやCDのレコーディングなどでもピアノ調整を行っている。現在は Shigeru Kawai ピアノ研究所次長として、ピアノ調整の他、ピアノの研究、また後進へのピアノ技術指導を行っている。
また音楽活動も積極的に行っており、第2回静岡の名手達に選ばれた他、東京国際声楽コンクールで第3位に入賞(読売新聞社賞受賞)、文化庁主催のコンサートのオーディションに合格し新国立劇場大ホールにてオーケストラとのコンサートも行い好評を得た。また現在藤原歌劇団に正団員として所属し、東京、静岡、浜松、名古屋を中心に年間に30回程の、コンサートやオペラ公演などを行っている。



ピアニスト 島田彩乃

桐朋女子高等学校音楽科を首席卒業。パリ国立高等音楽院、同研究課程、エコールノルマル音楽院修了。文化庁海外留学制度研修員としてライブツィヒ音楽大学にて研鑽を積む。ジャン・フランセ国際音楽コンクール、シドニー国際ピアノコンクール等国内外数々のコンクールにて優勝、入賞。CD『ビュッシー／デュティユー／ラヴェル』は作曲家デュティユー氏本人より賛辞を贈られる。2011年帰国。これまで、ヨーロッパ各国、南アフリカ、中国、および日本各地にて演奏活動を行うほか、東京フィルハーモニー交響楽団、九州交響楽団、シドニー交響楽団、ヨハネスブルグ交響楽団等オーケストラとの共演、TV・ラジオ出演など、多岐に亘った活動を活発に行う。また、室内楽にも精力的に取り組む、国内外アーティストとの共演多数、厚い信頼を得ている。上野学園大学講師として後進の指導にも力を注ぐ。欧州のフェスティバルにたびたび招かれる等、海外でも継続して活動を展開中。
ホームページ：
<http://ayanoshimada.online.fr/>
写真：Kazuto Shimizu



ピアノ Shigeru Kawai SK-EX

世界一のピアノづくりのために、カワイの技のすべてが注ぎ込まれた Shigeru Kawai。そこには、年月をかけることでしか生み出せない、そして挑戦することでしか辿りつけない、最高の音があります。革新の数々は、クラフマンたちの情熱が生み出しているのです。

理想的な音の響きや伸びを創るために、響板は天然乾燥に強くこだわり、その期間は実に数年間にも及びます。そのため、Shigeru Kawai の響板は音響特性に優れ、粒立ちの良い最高品質の音を実現します。

ウルトラ・レスポンス・アクションには、カーボンファイバー入り樹脂素材を使用。これにより、タッチ・連打性など、ピアニストの厳しい要求に対し、より正確に応えることが可能になりました。

低音部の弦への銅線の巻きつけは、非常にデリケートな技が求められます。この作業では、熟練の職人が巻線を一本一本でいねいに手巻きすることで、最高の品質を生み出しています。

約20トンにもおよぶ弦の張力を支持する躯体の剛性が、飛躍的に向上。調律安定性も格段に高まり、音の粒立ちがよく、力強さと立体感のある響きが生まれました。

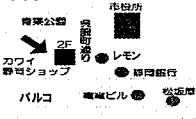
ピアノは安心のメーカー直営店に

KAWAI
もっと広えたい、感動を。

ピアノ 電子ピアノ 消音ピアノ 一般楽器 調律 楽譜 レンタルルーム

カワイ静岡ショップ

静岡市葵区長根町2-4-2
野澤屋ビル2F
(東海サンドラッグ隣)
TEL (054) 273-3950
FAX (054) 273-2040
伊勢丹 ●
七期町



SHIGERU KAWAI



藤枝市民会館 ♪チケットの予約・ご質問・お問合せ♪

TEL 054-643-3931 fsk@jewel.ocn.ne.jp
FAX 054-643-3966 <http://www.fsk-hall.jp>

開館時間は、8:30～22:00

※ホールの貸館が無い場合は、17時30分に閉館いたします。休館日は毎月第一火曜日です。1日目が火曜の場合、第二火曜日17時30分以降に御用のある方は、事前に、市民会館までお気軽にお問い合わせください。また年末年始(12/29～1/3)

【ところ】
〒426-8722
藤枝市岡出山1-11-1
藤枝市役所敷地内にあります。

【アクセス】
＜公共交通機関＞
JR藤枝駅北口、
静岡鉄道バス2番のりば
中部国道線、
『千才』下車徒歩10分